

令和2年度(2020年)2月6日
長野県公共事業評価委員会
担当：建設部建設政策課技術管理室
(室長)青木謙通
(担当)増澤邦彦 大澤耕治 芳川和久
電話：026-232-0111(代表)内線3328
026-235-7294(直通)
FAX：026-235-7482
E-mail：gijukan@pref.nagano.lg.jp

令和元年度 公共事業評価について

県が実施する公共事業について、公共事業の一層の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を向上させることを目的として、事業着手前から完了後までの各段階において、公共事業評価を実施し、評価結果等を公表します。

[新規評価5箇所、再評価10箇所、事後評価10箇所 計25箇所]

- 評価の実施に当たり、第三者による長野県公共事業評価監視委員会(委員長:^{ながとうとしみや}永藤壽宮氏)から評価対象となった25箇所全てについて、県の評価案を妥当と判断する旨のご意見をいただきました。
- 公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、公共事業評価対象事業の評価(対応方針)を、別添のとおり決定しました。

【経緯】

- ・ 令和元年 7月19日 第1回長野県公共事業評価委員会(評価案作成)
- ・ 令和元年 8月7日 長野県公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査2回)
~12月13日
- ・ 令和2年 1月16日 長野県公共事業評価監視委員会から意見具申

1 新規評価結果について

事業採択の判断に活用するために、新たに事業に着手しようとする箇所について、事業の必要性、重要性などの視点から新規評価を行いました。

(1) 評価対象事業箇所

評価対象は、県が事業主体となって、令和2年度に新たに着手しようとする公共事業のうち、総事業費が10億円以上の5箇所としました。

(2) 新規評価の審議結果

県が新規評価を実施した箇所について、公共事業評価監視委員会で審議を行った結果、必要性、重要性、緊急性などをまとめた県の評価案は妥当とのご意見をいただきました。

対象箇所一覧及び評価結果

担当 部局	事業種類	事業名	路河川名等※	箇所名 (市町村名)	事業概要	予定工期	全体事業費 (千円)	県の 総合 評価	県の 評価案 県の対 応方針	評価監 視委員 会意見	評価 結果 (県の対 応方針)
建設部	河川の整備等	河川	(一) 裾花川	すそばな 裾花ダム・おくすそばな 奥裾花ダム (長野市)	土砂バイパストンネル L=9.0km 治水容量の確保	R2～R44 (2020～2062)	71,000,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(国) 403号	しもきしま 下木島 (飯山市～木島平村)	道路拡幅工 L=1,380m W=6.5 (15.0) m	R2～R10 (2020～2028)	2,100,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(主) 諏訪辰野線	おさか あるが 小坂～有賀 (岡谷市～諏訪市)	道路築造工 L=1,400m W=6.0 (7.5～12.5) m	R2～R5 (2020～2023)	2,500,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(主) 伊那イン ター線	ちゅうおう うえ はら 中央～上の原 (伊那市)	道路築造工 L=1,190m W=7.0 (13.0) m	R2～R11 (2020～2029)	4,600,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	補完的な道路 の整備	街路	(都) 若宮線	わかみや 若宮 (千曲市)	道路改築工 L=800m W=6.0 (16.0) m	R2～R9 (2020～2027)	1,300,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
				5箇所							

・事業の必要性、重要性、効率性、緊急性、計画熟度を点数化し、その合計により評価 [100点満点 A:75点以上 B:75～50点 C:49点以下]
 ※(一):一級河川 (国):一般国道 (主):主要地方道 (都):都市計画道路

注)網掛け:詳細審議箇所(各事業等を取り巻く社会状況等を勘案して、詳細審議の対象事業として監視委員会が抽出した箇所)

詳細審議箇所の判断理由・審議上の意見 (○判断に至った理由 ◇審議上の意見)

1 河川 一級河川裾花川 ^{すそはな} 裾花ダム・奥裾花ダム ^{おくすそはな}【長野市】

- 過去の大規模洪水に起因した計画を上回る堆砂によるダム機能の低下や、近年の頻発化・激甚化する豪雨の発生状況から、貯水池内への土砂流入抑制対策や堆積土除去、治水計画の見直しが必要であり、県民の安全・安心な暮らしの確保につながると認められること。
- ◇ 昨年10月の台風第19号など、近年激甚化する豪雨災害を踏まえ、計画を検討されたい。
- ◇ 土砂対策に関しては、治山事業などと連携し、流域全体で取組まれたい。



2 道路改築 主要地方道伊那インター線 ^{ちゅうおう} 中央～^{うえ} 上の原 ^{はら}【伊那市】

- 当該箇所は、事業中である内環状線の街路事業と一体となって伊那ICと伊那バイパスを結ぶ幹線道路であり、伊那中央病院や上ノ原工業団地へのアクセスを担う道路となること。
- ◇ 人口減少に伴う交通量の減少など、社会状況の変化等に応じた適切な計画であることを県民に分かりやすく説明されたい。
- ◇ 縦断勾配が急な箇所については、速度の低下及び上昇に対する適切な措置を講じること。
- ◇ 隣接する街路事業と十分連携・調整を図ること。



2 再評価結果について

事業採択後長期間が経過している事業等について、事業の進捗状況等の視点から再評価を行い、必要に応じ事業の見直し等を行いました。

(1) 評価対象事業箇所

評価対象は、事業採択後長期間が経過、または、再評価後一定期間が経過している事業等の10箇所としました。

(2) 再評価の審議結果

県が再評価を実施した箇所について、公共事業評価監視委員会で審議を行った結果、同委員会から県の再評価案は妥当とのご意見をいただきました。

対象箇所一覧及び評価結果

担当 部局	事業 種類	再評価 理由	事業名	路河川名等※	箇所名 (市町村名)	事業概要	予定工期	全体事業費 (千円)	県の 再評価 案 (県の対 応方針)	評価監 視委員 会意見	評価 結果 (県の対 応方針)	見直し内容
建設部	治山・砂防	①	砂防	(砂)一本木沢	青鬼 (白馬村)	1号砂防堰堤 1基 2号砂防堰堤 1基 溪流保全工 L=75m	H26～R5 (2014～2023)	400,000	継続	妥当	継続	—
建設部	治山・砂防	⑤	砂防	(砂)栃平沢	栃平 (筑北村)	砂防堰堤 1基 H=28.0m L=149m	H7～R6 (1995～2024)	3,270,000	継続	妥当	継続	—
建設部	河川の整備等	②	河川	(一)矢出沢川	常磐城 (上田市)	護岸工 L=1,000m	H22～R3 (2010～2021)	1,515,000	見直して継続	妥当	見直して継続	河道計画の見直し
建設部	河川の整備等	④	河川	(一)松川	松川ダム (飯田市)	洪水バイパス施設 L=1,662m 堆積土排除工 V=300万㎡ 低水放流施設 1式	H2～R8 (1990～2026)	18,200,000	継続	妥当	継続	—
建設部	主要な道路の 整備	④	道路改築	(国)144号	上野バイパス (上田市)	道路築造工 L=2,290m W=13.0m	H12～R9 (2000～2027)	9,300,000	継続	妥当	継続	—
建設部	主要な道路の 整備	②	道路改築	(国)254号	東内～西内 (上田市)	道路築造工 L=9,400m W=6.5m	H22～R5 (2010～2023)	3,400,000	継続	妥当	継続	—
建設部	主要な道路の 整備	⑤	道路改築	(国)153号	伊那バイパス (伊那市～箕輪町)	道路築造工 L=7,630m W=14.0m	H9～R9 (1997～2027)	310,000,000	継続	妥当	継続	—
建設部	道路付帯施設 の整備	⑤	交通安全施設等整備	(一)大平大峰 沓掛線	沓掛 (大田市)	歩道工 L=160m 踏切拡幅工 1箇所	H22～R4 (2010～2022)	370,000	継続	妥当	継続	—
農政部	農業基盤整備	⑤	県営かんがい排水		梓川右岸 (松本市)	排水路工 L=3,152m	H24～R5 (2012～2023)	3,229,000	継続	妥当	継続	—
林務部	森林整備	④	林道開設		氏業 (喬木村)	林道 L=8,296m	H6～R9 (1994～2027)	2,745,000	見直して継続	妥当	見直して継続	平面線形の見直し
					10箇所							

・事業の進捗状況、事業を巡る社会経済情勢等の変化等の観点から、「継続」、「見直して継続」、「中止」の3段階で評価

※ (砂)：砂防河川 (一)：一級河川 (国)：一般国道 (一)：一般県道

[再評価理由]

- ① 事業採択後、5年間を経過した後も未着工の事業
- ② 事業採択後、10年間が経過した時点で継続中の事業
- ③ 事業採択前の準備・計画段階で5年間が経過している事業
- ④ 再評価実施後、5年間が経過した時点で、一部供用されている事業を含め、継続中の事業
- ⑤ その他必要と認める事業

注) 網掛け：詳細審議箇所(各事業等を取り巻く社会状況等を勘案して、詳細審議の対象事業として委員会が抽出した箇所)

詳細審議箇所の判断理由・審議上の意見 (○判断に至った理由 ◇審議上の意見)

1 河川 一級河川松川 ^{まつかわ}松川ダム【飯田市】

- 当箇所については洪水バイパスが完成し、その機能を十分発揮しているが、未だに貯水池内に多くの土砂が堆積しており、貯水池機能回復のため、引き続き堆積土除去が必要と判断されること。
- ◇ 洪水バイパスは県が主体となる事業では初であり、今後のダム再生事業実施に当たり、貴重な事例となるため、下流域への影響等のデータの蓄積と活用を検討されたい。
- ◇ 当該事業をはじめ、他の同種事業についても県民の理解促進が図られるよう、積極的な情報発信に努められたい。
- ◇ 土砂対策に関しては、治山事業などと連携し、流域全体で取組まれたい。



事業全景



上流の状況

2 道路改築 一般国道 153 号 伊那バイパス【伊那市～箕輪町】

- 側道整備の追加は、沿線の土地利用の機能確保のため、必要と判断されること。
- 交差点計画等の変更による構造の見直しについては、円滑な交通の確保や他事業との関連のため、必要と判断されること。
- 上記の変更に伴い、事業費が増となるが、引き続き事業が必要と判断されること。
- ◇ 最大7m程度となる高盛土部の施工に当たっては、沈下などに留意されたい。
- ◇ 伊駒アルプスロードの完成時期などを考慮し、起点側の交差点の設計に当たっては暫定供用時においても円滑な交通の確保に配慮されたい。



現道の渋滞状況



工事が進むトンネルと橋梁

3 交通安全施設等整備 一般県道大平大峰沓掛線 ^{くつかけ}沓掛【大町市】

- 平成 28 年の踏切道改良促進法の改正に伴い、「通学路要対策踏切」に指定されたことから、踏切

拡幅工を本事業に追加して整備することは、妥当と判断されること。

- ◇ 子どもの安全確保のため、早急な事業の完了に努めること。



4 県営かんがい排水



あずきがわうが

梓川右岸【松本】

現況

踏切前後の歩道完成区間

- 事業採択後の鉄道会社との再協議及び地質調査の結果、排水管の埋設深さを浅くするとともに、巨石の存在が判明したことから、施工性等を考慮し、開削工法をシールド工法に変更することは、やむを得ないと判断されること。
- ◇ 事業の計画に当たっては、事前の調査や関係機関との協議を十分に実施されたい。



現況

(近年の豪雨により農業水路が溢れ、周辺の農地や住宅地が冠水)



水路完成区間

(冠水被害を防止するためバイパス水路を新設し、排水機能を強化)

3 事後評価結果について

公共事業について、事業完了後一定期間を経過した箇所の事業効果の発現状況や施設の維持管理状況などを検証する事後評価を行いました。

評価結果は、今後の事業の計画・調査・実施の検討などに活用していきます。

(1) 評価対象事業箇所

評価対象は、県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所から、事業種類ごとに事業費の大きい箇所など 10 箇所を抽出して実施しました。

(2) 事後評価の審議結果

県が事後評価を実施した箇所について、公共事業評価監視委員会で審議を行った結果、事業効果の発現状況などをまとめた 県の評価案は妥当 とのこと意見をいただきました。

対象箇所一覧及び総合評価結果

担当 部局	事業種類	事業名	※ 路河川名等	箇所名 (市町村名)	事業概要	工期	最終事業費 (千円)	県の 総合 評価 案	評価 監視 委員 会意見	総合 評価
建設部	地すべり対策	地すべり対策	(地)大倉	おおくら 大倉 (生坂村)	横ボ—リング工 L=860m 押え盛土工 V=4,678m ³ 排土工 V=5,134m ³ 吹付砕工 A=2,499m ² 鋼管杭 N=44本	H17~H25	629,550	A	妥当	A
農政部	農村地域の 防災・減災	県営農村 地域防災減災		ひがししろかわ 東黒川 (飯綱町)	ため池改修工 N=1箇所 排水路工 L=539m	H22~H25	112,000	A	妥当	A
林務部	治山・砂防	治山		みなしなの 南信濃 (飯田市)	荒廃林の整備 A=16.38ha 谷止工 N=2個 山腹工 A=1.19ha	H20~H25	311,182	A	妥当	A
建設部	治山・砂防	砂防	(砂)富士尾沢川	とよさと 豊里 (安曇野市)	堆積工 L=230.1m W=24.5m	H19~H25	409,110	A	妥当	A
建設部	河川の整備等	河川	(一)厚川	くめじ 久米路 (長野市)	河川トンネル工事 L=200m 開削工事:杉山右岸 V=38万m ³	H11~H25	2,400,000	A	妥当	A
建設部	主要な道路 の整備	道路改築	(国)299号	いしがやかく 糸置拡幅 (茅野市)	道路築造工 L=330m W=6.5(11.0)m	H20~H25	657,850	A	妥当	A
建設部	補完的な道路 の整備	街路	(都)三日町 犬ノ窪線	たわらまち 俵町 (大田市)	道路拡幅工 L=709m W=6.0(16.0)m (内交差点擦り付け部L=109m)	H22~H27	804,617	A	妥当	A
建設部	道路付帯施設 の整備	交通安全 施設整備等	(主)松本塩尻線	みなみうちだ 南内田 (塩尻市)	歩道整備工 L=677m W=2.5m	H18~H27	328,443	A	妥当	A
農政部	農業基盤整備	県営畑地帯 総合土地改良		こもろみまきはら 小諸御牧原 (小諸市)	区画整理 A=46ha 畑地かんがい施設 A=31ha 調整池 N=1か所	H10~H25	2,190,000	A	妥当	A
林務部	森林整備	林道開設	戸谷沢線	とやざわ 戸谷沢 (須坂市)	林道開設 L=7,696m(L=4,524m) W=4.0m 切土、盛土、路盤工、法面保護工、擁 壁工、残土処理工ほか	H4~H25	972,367	A	妥当	A
				10箇所						

・事業効果の発現状況等の評価項目を点数化し、その合計により評価 [100点満点 A:75点以上 B:74~50点 C:49点以下]

※ (地):地すべり防止区域 (砂):砂防河川 (一):一級河川 (国):一般国道 (都):都市計画道路 (主):主要地方道
注)網掛け:詳細審議箇所(各事業等を取り巻く社会状況等を勘案して、詳細な審議の対象事業として委員会が抽出した箇所)

詳細審議箇所の判断理由・審議上の意見 (○判断に至った理由 ◇審議上の意見)

1 砂防 砂防河川富士尾沢川 ^{とよさと} 豊里【安曇野市】

- 工事完了後、土石流に対する地域の安全性が向上したこと。
- 現地発生材（巨石類）を護岸・護床へ利用するなど自然環境に配慮しており、地域住民から高い評価を得ていること。
- ◇ 流域全体で治山事業と連携して実施した治水・土砂流出防備等を広く地域へPRされたい。
- ◇ 下流に隣接する公園内の流路工と景観上の統一を図るため、現地発生材の巨石を使った流路工を施工するとともに、堆積工においても擬石を用いるなど、周辺全体の景観に配慮したことを今後の新規事業に活かされたい。

[施工前]



[施工後]



堆積工により、地域の安全性が向上

2 街路 都市計画道路三日町犬ノ窪線 ^{たわらまち} 俵町【大町市】

- 道路拡幅により円滑な交通を確保するとともに、歩道の整備により歩行者の安全性が向上したこと。
- 地域住民の9割以上の方から、歩行者の安全性向上、車両通行の円滑化、景観や生活環境の改善などの高い評価を得ていること。
- ◇ 現在、使用されていない植樹帯について、植樹に向け、地元地区や小学校とともに検討されたい。
- ◇ 植樹帯の設置に当たっては、維持管理を含めて検討されたい。

[施工前]



車道幅員が狭く、歩道のない道路

[施工後]



歩道が整備され、円滑な交通を確保